

中学生の部活動と勉強に関する実態調査

保護者の6割以上 部活動が勉強に良い影響

部活動「週5日以内が適切」 87.2%

進学塾・栄光ゼミナールを運営する株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山本博之)は、2018年5月9日(水)～5月23日(水)に、部活動と勉強に関する実態調査を実施し、公立中学校に通う中学1年生～中学3年生の子どもを持つ保護者、および公立中学校に通っていた高校1年生の子どもを持つ保護者(※)396人の有効回答が得られました。

※高校1年生の保護者は、子どもの中学時代の部活動について回答

- 部活動の活動日数が週6日以上、運動部の42.0%
- 保護者の87.2%が、部活動の活動日数は週5日以内が適切と回答
- 部活動が勉強に良い影響を与えている、保護者の61.5%
- 保護者の約7割が勉強と部活動を両立できていると感じている
- 部活動のデメリット、保護者の半数以上が「子どもの勉強時間が減る」

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象:公立中学校に通う中学1年生～中学3年生の子ども、および公立中学校に通っていた高校1年生の子どもを持つ

栄光モニター会員(栄光ゼミナール・大学受験ナビオ・栄光の個別ビザビに通塾する保護者)

調査方法:インターネット調査

調査期間:2018年5月9日(水)～5月23日(水)

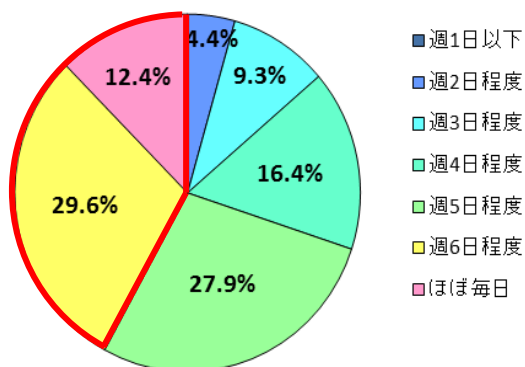
回答者数:396名(うち、運動部所属:256名(64.6%) 文化部所属:140名(35.4%))

部活動は週何日程度行われていますか(いましたか)。(テスト期間や長期休暇は除く)

(n=356、単一回答方式)

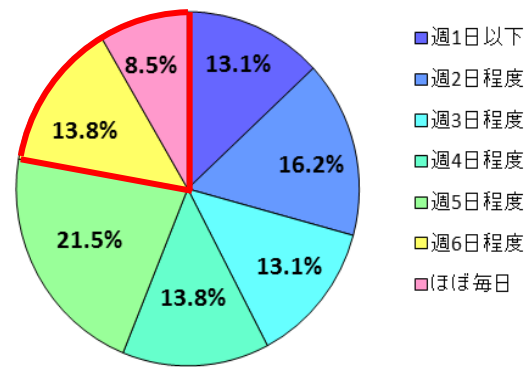
部活動は週何日程度行われていますか(いましたか)

<運動部>



部活動は週何日程度行われていますか(いましたか)

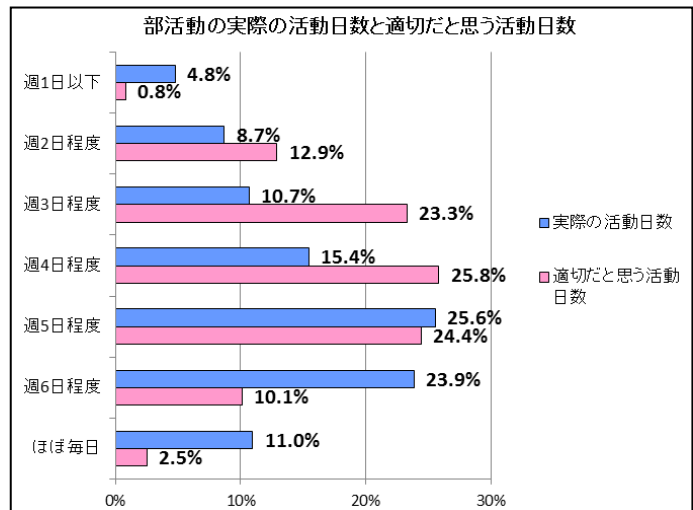
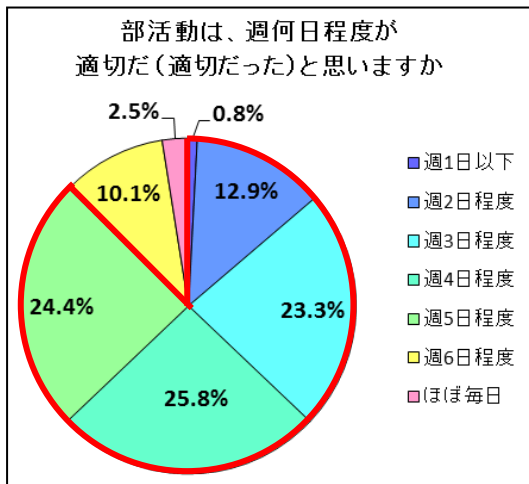
<文化部>



部活動の活動日数を調査したところ、運動部に所属する(していた)子どもの42.0%、文化部に所属する(していた)子どもの22.3%が、1週間の活動日数が6日以上と回答した。運動部に所属する中学生の5人に2人が、平日だけでなく、土日にも部活動を行っている(行っていた)ことが明らかとなった。

部活動は、週何日程度が適切だ(適切だった)と思いますか。(テスト期間や長期休暇は除く)

(n=356、単一回答方式)



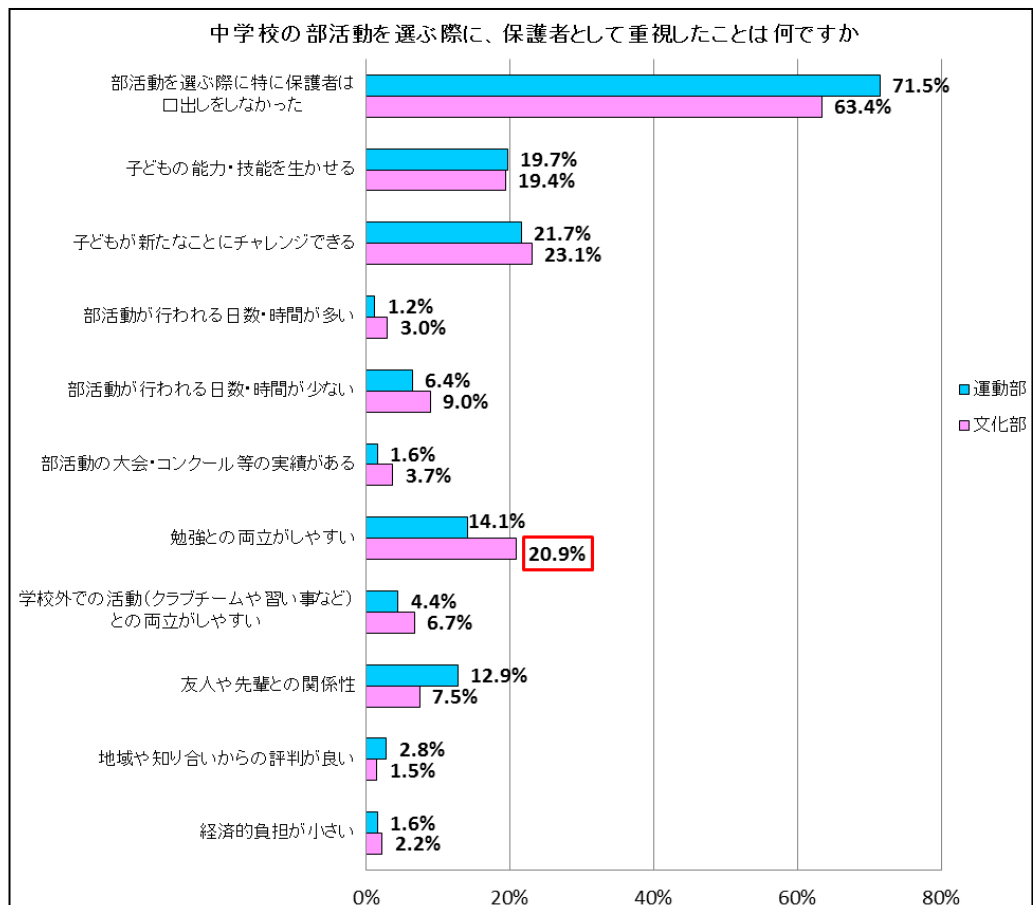
保護者からみて、部活動は週何日程度が適切だ(適切だった)と思うか聞いたところ、最も多くの保護者が「週4日程度」と回答した。次いで「週5日程度」が続き、週5日以内が適切だと思っている保護者は、あわせて87.2%にのぼることが明らかとなった。

実際の活動日数と比較すると、「週3日程度」「週4日程度」の活動日数で、大きく差が開いていることがわかった。また、実際に週6日以上部活動を行っている割合は全体の34.9%だが、週6日以上が適切だと考えている保護者は12.6%にとどまった。

中学校の部活動を選ぶ際に、保護者として重視したことは何ですか。

(n=383、総回答数 628、複数回答方式(いくつでも可))

中学校の部活動を選ぶ際に重視したことを聞いたところ、「部活動を選ぶ際に特に保護者は口出しをしなかった」という保護者が最も多く、運動部で71.5%、文化部で63.4%だった。「勉強との両立がしやすい」ことを重視した保護者が、文化部は20.9%である一方、運動部は14.1%であり、6.8ポイントの差が開いた。

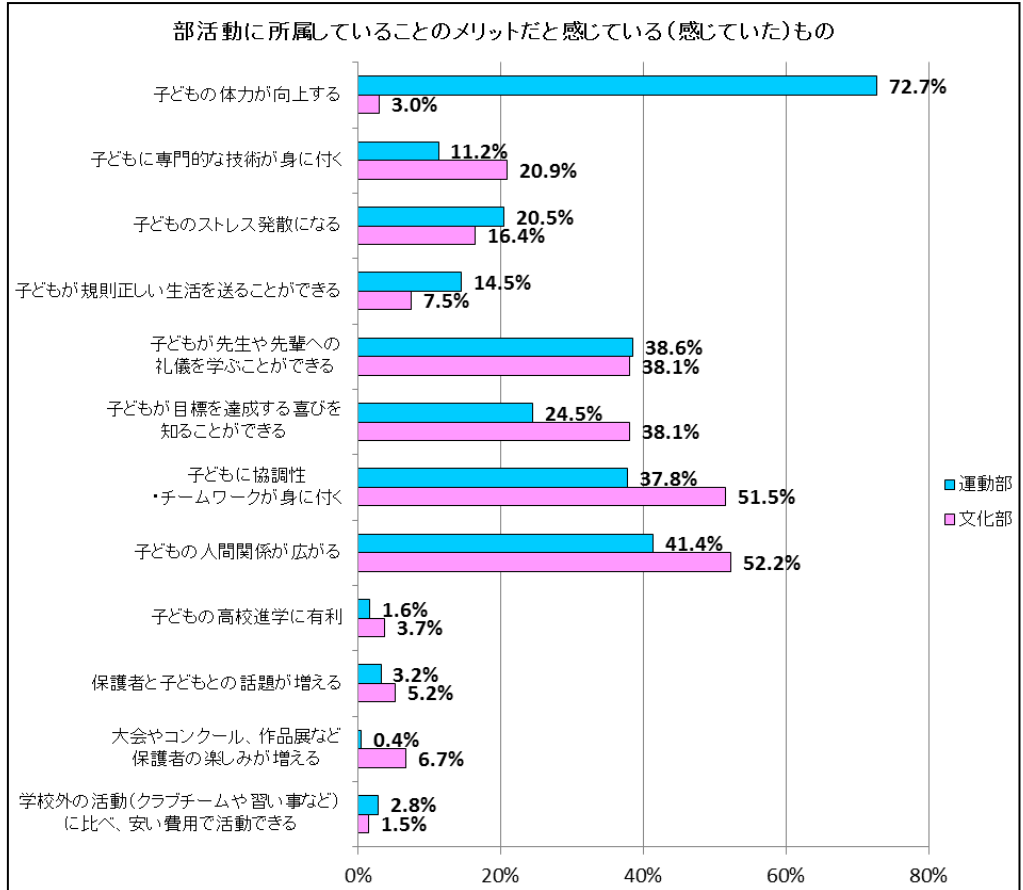


保護者から見て、お子さまが部活動に所属していることのメリットだと感じている(感じていた)ものは何ですか。

(n=383、総回答数 998、複数回答方式(最大3つまで選択))

子どもが部活動に所属していることのメリットを聞いたところ、運動部に所属している子どもの保護者は「子どもの体力が向上する」が最も多く、72.7%にのぼった。文化部では、「子どもの人間関係が広がる」「子どもに協調性・チームワークが身に付く」で半数以上の保護者があてはまると回答した。

また、回答者1人あたりが選んだ選択肢の平均は、2.6 個だった。

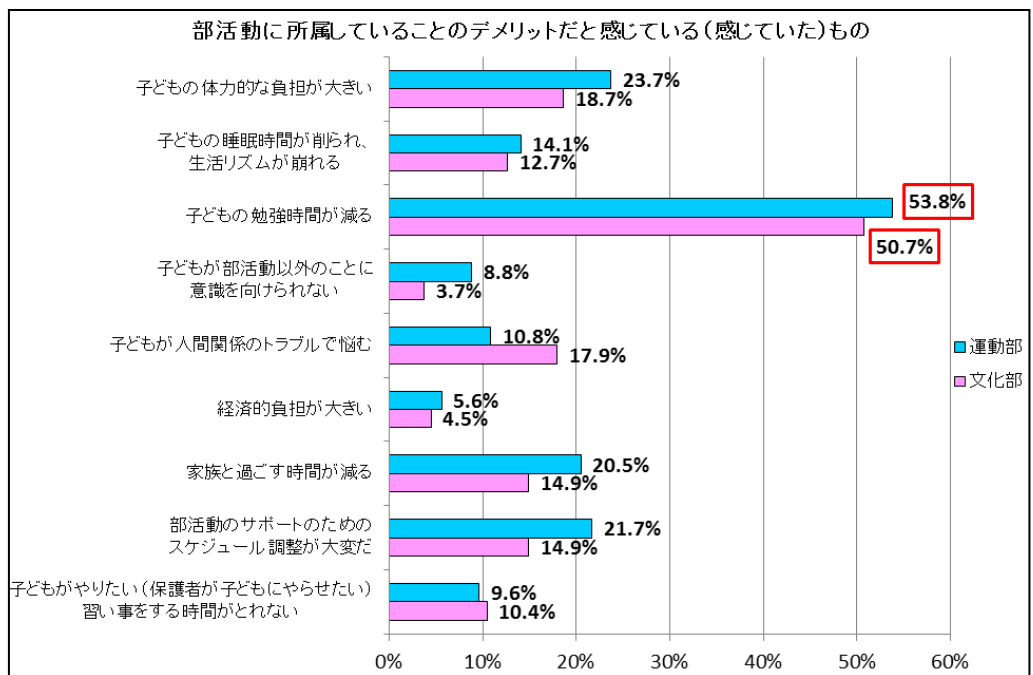


保護者から見て、お子さまが部活動に所属していることのデメリットだと感じている(感じていた)ものは何ですか。

(n=383、総回答数 619、複数回答方式(最大3つまで選択))

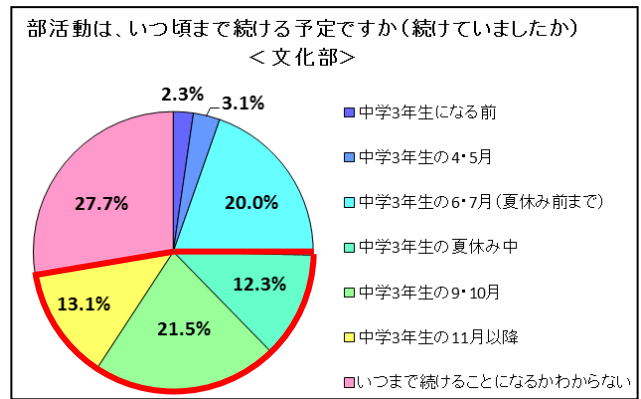
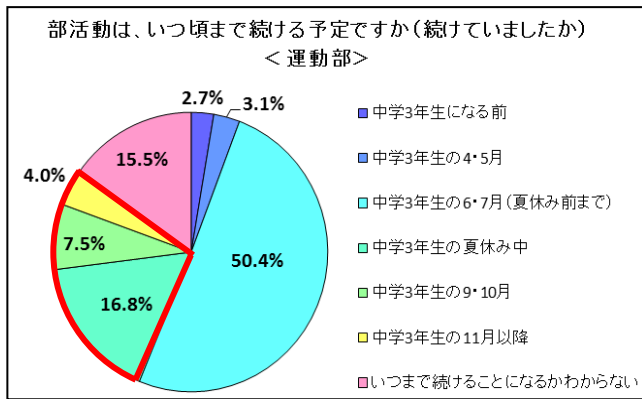
子どもが部活動に所属していることのデメリットを聞いたところ、運動部・文化部ともに「子どもの勉強時間が減る」が最も多く、運動部では53.8%、文化部では50.7%にのぼった。

また、回答者1人あたりが選んだ選択肢の平均は1.6 個となった。部活動に所属しているメリット・デメリットを比較すると、メリットの方をより強く感じている保護者が多いと考えられる。



部活動は、いつ頃まで続ける予定ですか(続けていましたか)。

(n=356、単一回答方式)

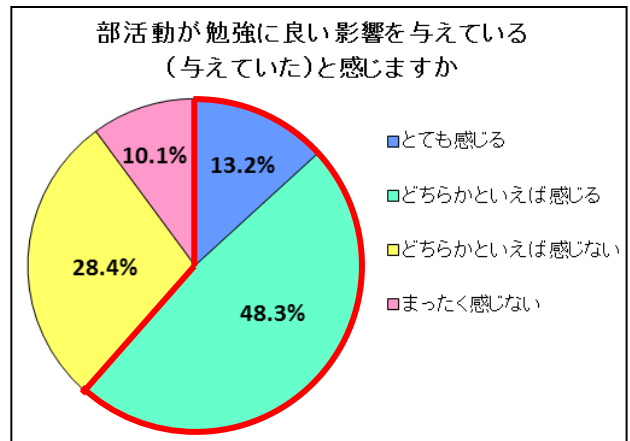


部活動をいつ頃まで続ける予定か(続けていたか)聞いたところ、運動部に所属する子どもの保護者の半数以上が「中学3年生の6・7月(夏休み前まで)」と回答した。文化部は「中学3年生の9・10月」が最も多くなった。
 夏休み以降も部活動を続けている割合は、運動部に所属する子どもは28.3%、文化部に所属する子どもは46.9%となり、運動部の半数以上が夏休み前で引退する一方、文化部は半数近くが夏休み以降に引退時期を迎えるということが明らかとなった。

部活動が勉強に良い影響を与えている(与えていた)と感じますか。

(n=356、単一回答方式)

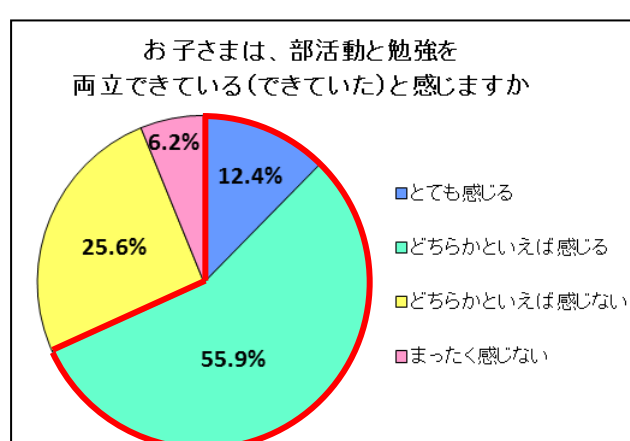
部活動が勉強に良い影響を与えている(与えていた)か聞いたところ、61.5%の保護者が「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した。
 運動部と文化部を比べると、運動部では63.3%、文化部では58.5%の保護者が「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答し、運動部・文化部どちらも、部活動は勉強にプラスになっていると感じている(感じていた)保護者が多いと考えられる。



お子さまは、部活動と勉強を両立できている(できていた)と感じますか。

(n=356、単一回答方式)

子どもは部活動と勉強が両立できている(できていた)と感じるかを聞いたところ、68.3%の保護者が、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した。
 運動部と文化部を比べると、運動部では63.3%、文化部では76.9%の保護者が「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答し、文化部の方が両立できている(できていた)と感じている保護者が多いことが明らかとなった。



部活動と勉強を両立するうえで、感じている(感じていた)ことを自由にお書きください。
また、部活動と勉強を両立するための工夫があれば教えてください。

(自由記述方式)

部活動と勉強の両立に関して、感じている(感じていた)こと、両立するための工夫などを聞いたところ、以下の意見が寄せられた。

【部活動と勉強の両立について感じていること】

＜両立できている＞

- ・自分で自分を管理すること、そのために自分で考えて試行錯誤するよい経験ができていたと思う。
- ・本当にやりたい部活に入ると、部活が息抜きになる。
- ・部活動に入っていたおかげで体力はついたので、受験が乗り越えられたかな、と思う。
- ・部活が勉強(高校進学)への意欲になっている部分がある。
- ・規則正しい生活と協調性を学ぶことができる。これは社会人となっても大事なことだと感じる。

＜両立は難しい＞

- ・部活動以外の時間は自由に過ごしたいと思うようで、結局は遊んでしまうという悪い習慣ができてしまった。
- ・子供は充実した毎日を過ごし楽しい中学生活だったが、英検などの検定試験を受けに行くにも部活を休みづらい雰囲気があったので、親はやきもきしていた。
- ・両立するのが当たり前のことなのに、部活の顧問は部活至上主義だったため、辞めるしかなかった。

＜要望・希望＞

- ・部活動の予定が直前にしか出ないので、前もって教えてもらえると、模試の予定などがたてやすいと思った。
- ・なかなか文武両道は難しく、勉強しなくてはいけないのは解るけれど、時間が足りない。せめて土日祝は部活も休みにできれば、平日の足りない所を補えると思う。

【部活動と勉強の両立の工夫】

- ・入部するまでに、休日などの情報を聞いておく。塾や習い事との両立ができるかよく子供と話し合っておく。
- ・個別指導にかえたことで、塾の振替ができた。
- ・少ない時間でも試験前は自習室に連れていくのがよい。時間の使い方がうまくなった。
- ・家に帰ってきて勉強するのは寝てしまったりテレビを見たり誘惑が多いので、集中して短時間で勉強できるよう図書館の学習室をよく利用している。
- ・朝方勉強にしている。
- ・試験勉強は2週間以上前から始めていた。
- ・部活後に帰宅して疲れたときは、5分から30分睡眠をとり、休息させたから学習時間を確保したり、早く寝て早朝に起きて学習したり、一定の時間を確保して学習に取り組めるようにアドバイスをした。
- ・引退時期が10月末と遅いため、本人にはなるべく早くから受験対策をするようにと伝えている。

～栄光では、勉強と部活動を両立し、高校受験をサポートするサービス、取り組みを行っています！～

【栄光の個別ビザビ】

今年6月から、栄光ゼミナールの個別指導が「栄光の個別ビザビ」としてリニューアル！

「栄光の個別ビザビ」の特長は、“一人ひとりのオーダーメイド学習プラン”。苦手克服・定期テスト対策・志望校対策など、それぞれの目標達成のために最適な学習プランを提案しています。

また、“通塾曜日と時間が選べる”“振替授業が可能”なので、部活動で忙しい中学生も、無理なく勉強との両立ができます。

[栄光の個別ビザビ] <https://www.eikoh-vis-a-vis.com/>



【公立高校攻略セミナー】

東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県で『公立高校攻略セミナー』を開催します。小学4年～中学3年生の生徒・保護者対象に、各都県の昨年度の公立高校の入試動向や出題傾向を各地域の栄光ゼミナールトップ講師が解説する特別セミナーです。「高校受験」のイメージをつかむことで、部活動と勉強を両立するモチベーションアップにもつながります。

[(無料) 公立高校攻略セミナー]

<http://www.eikoh-seminar.com/event/2018/004840/>



会社概要

中学受験、高校受験対策の学習塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国約450教室を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室なども運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目11番11号

代表： 代表取締役社長 山本 博之

設立： 1980年7月

本件に関する問い合わせは

ZEホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax：03-5275-1679 Mob：070-4036-1980

メールアドレス：hiroko-okubo@ze-hd.co.jp